

支 援

学校支援ボランティアコーディネーター説明会

4月13日(水)に、2016年度の学校支援ボランティアコーディネーター説明会が、教育センターの大会議室で開催されました。



はじめに、指導課の職員紹介の後、高橋教育委員長職務代理者と八並教育委員から、学校支援ボランティアコーディネーター（以下「VC」と記載）への激励と感謝の意を込めたご挨拶をいただきました。また、指導課長と統括指導主事からも学校の教育活動がVCの活動によって支えられていることへのお礼と今年度もお力添えいただきたいとのご挨拶をさせていただきます。

続いて、VCを代表して金井小の有賀VCに委嘱書が手渡されました。本年度は12名の新しいVCが加わり、市内の全小中学校で92名のVCが活動することになります。情報共有とコミュニケーションが重要ですので、

学校の先生方（特に、副校長先生）とVCが密接に連携しながら、保護者・地域と学校をつないでいただければと思います。

学校支援センター事業に関する詳細については、統括コーディネーターから説明しました。説明が不十分な点もあったかと思いますが、ご不明な点はいつでも指導課学校支援センターに問い合わせてください。

今年度の指導課・町田市学校支援センターは、相田、有賀、岡田の3名の統括コーディネーター及び事務の阿部の計4名で業務を遂行してまいります。よろしく願い申し上げます。



VCのかかわった活動を寄稿してみませんか

学校支援センターの広報紙『支援』第80号に、鶴川第二小学校VCの寄稿文を掲載しました。2015年度からVCになった井上さんは、5年生の総合的な学習『水』のなかで、地域の協力者と学校をつなぐためのコーディネートにあたりました。

子供・教師にとっても、そして協力して下さった地域の方にとっても満足のある授業になる、その背景にVCの存在があったとしたら、こんなに嬉しいことはありません。こうした姿を思い描きながらVC活動に臨んだ一年だったのではないのでしょうか。

学校支援センターでは、VCのかかわった活動を寄稿していただければ、広報紙『支援』ならびに学校支援センターのHPに掲載していく予定です。VCとして学校と地域・保護者をつないだ事例をA4サイズ1～2枚程度にまとめ、活動中の画像も添付のうえ、ご応募ください。

【寄稿】

総合的な学習の時間 「水」

鶴川第二小 ボランティアコーディネーター 井上 陽子

鶴川第二小学校の5年生は、「21世紀スキル科」(総合的な学習の時間)の中で「水」をテーマにして、調べたり話し合ったり体験したりする学習に取り組みました。地域の方々に大変お世話になりながら取り組んだ一年間の学習活動をご報告します。

◇田植え体験

梅雨に入った6月11日、5年生は真光寺川沿いの吉川(和)さんの田んぼをお借りして田植えをしました。当日は、2年生が田植えの様子を見学に来ていました。吉川さんから植え方を教わった後、苗を数本ずつもらって田んぼに並んで入りました。「この水は真光寺川からきているのかな。」「ドロがないよ。これでは、植えられない。稲が倒れるよ。」「この稲って、メダカや水の中の生き物と一緒に育つの?」「水はなくならないのかな。」などと話をしながら植えていました。田んぼと湧水をペットボトルに入れ、水質を調べてみようと言って持ち帰りました。こうして、「水」の学習が始まりました。



◇ワークショップ



地域の専門家から、写真や映像を見ながら、「水」に関することを説明してもらいました。吉川(百)さんからは、真光寺川の流れの移り変わりや、70年前に真光寺川で遊んだことなどの体験談、神蔵さんからは真光寺川の堰と生き物の移り変わり、栗原さんからは、下水と水循環の重要性などについてのお話をうかがいました。自分たちの疑問にも答えてもらって解決した問題もあれば、新たな疑問も浮かんできて、さらに追究していこうと決めた5年生でした。

◇農家の見学

田植えの後、「井戸グループ」「池グループ」は、学校の近くで、真光寺川に近い石川さんのお宅を訪問しました。石川さんのお宅は、今でも藁ぶき屋根の母屋が大切に使われていて、家の周りには、田んぼ・畑とともに池や湧水や井戸もあります。電気ポンプを使って地下水をくみあげる庭の井戸は、昔から生活用水として使っていると説明を受けました。「宝物がいっぱいある。」「学校にも池があったらいいね。」と言いながら、湧水や池に注目する児童もいました。石川さんの子供の頃の真光寺川の生き物や川の変化、川の水を使って稲を育てたことなどのお話をうかがいながら、あらためて水の大切さや、川・池・井戸の果たしてきた重要な役割を学ぶ機会となりました。

◇稲刈り体験

10月8日、秋晴れのもと、5年生は吉川さんの田んぼで稲刈り体験をしました。吉川さんから稲の刈り方の説明を受けた後、鎌で稲を刈って束にしたり、干したりする方法も教わりました。これまでは見えなかった地面にも着目しながら、「まだじめじめしている。」「粘土が多い土だ。」「生き物は湧水のほうに行ったかな。」などと、児童たちは細かく観



察しました。田の土壌、生き物も共生できる稲作など、少しずつ視野が広がっていきました。その後、吉川さんが脱穀や精米をしてくださり、給食のときに学校全員でいただきました。吉川さんにお世話になってできたご飯の味は格別でした。

◇現代の井戸を見学

10月23日には、「井戸グループ」「池グループ」の念願がかなって学校近くの豊倉さんの井戸を見学させていただきました。豊倉さんは、災害時に備えて井戸を作ったそうです。100m近く掘った井戸からモーターで水を汲み上げ、蛇口から水が出るようになっていいます。「水質検査をしてあるので飲み水にも使えるし、停電でも太陽光を使って水道モーターを動かせる。」と話してくれました。ここで初めて、災害時に備えた井戸もあることを知りました。



◇井戸・池作り体験

これまでの学習を通して「水」の大切さを痛感した「井戸グループ」「池グループ」は、学校に井戸を掘ってみてはどうかということを担当の先生に提案しました。「井戸グループ」「池グループ」は校長先生にお願いしたところ、井戸掘り池掘りの許可がありました。学区域にお住まいの神蔵さんは上総掘りの専門家なので井戸掘りのことを相談したところ、話はとんとん拍子に進み、12月から井戸を掘り始めることになりました。掘る場所はビオトープの近く。水質検査の結果もよいということで場所は確定となり、寒い中工事が始まりました。



初めてスコップで掘り始め、1m位掘ったところで水が湧いてきました。みんなの歓声が上がりました。その後も掘り続け、1月には神蔵さんのお世話でコンクリートの枠を埋めました。さらに、井戸に手押しポンプをつけて完成。「これで、いざというときに地域の人たちに使ってもらえるよ。」ポンプを押し続けてしばらくすると水が出てきたときには、もう一度大歓声が上がりました。

池も神蔵さんのお世話で井戸の近くに作ることになりました。1月からスコップで掘りはじめ、70cm位掘りました。最後に池の底を平らにし、池の周りを固めるときには、池の中の水が氷ってしまっていて、苦労しました。池の周りにセキショウやユキヤナギを植えました。「あと、メダカと睡蓮入れたら完成。大変だった。頑張った。」「1・2年生喜ぶかな。」達成感を味わえた瞬間でした。

神蔵さんのご指導・多大なるご支援のもとに井戸・池を作り上げたことは、児童にとっても学校にとっても大きな宝物となりました。

◇5年生の総合 テーマ「水」の発表会

3月3日には、これまでお世話になった地域や保護者の方をお招きして、「水」学習の発表会をしました。「井戸グループ」「池グループ」は、ご支援いただいた神蔵さんの前で「水の大切さがわかった。」「水中の生き物の大切さを感じた。」「夢だった井戸が実現した。満足。」「防災に役立つ井戸ができた。」「中高学年の人たちにこの池と井戸を守ってほしい。」「池を作りながら、協力することの大切さがわかりました。」「井戸を作ることによって達成感を味わえた。」と、誇らしく発表していました。ご支援くださった地域の方には感謝の思いをこめながら、学び合いの成果を発表して、5年生の「水」の学習をしめくくりました。



小山田中学校「土曜ゆびとま教室」

2月20日（土）に小山田中学校で、生徒の自主参加・自習形式の学習教室「土曜ゆびとま教室」が図書室を会場にして開かれました。当日はふと気が付くと雨が降っているというような天気の下でしたが、9名の生徒（1～3年生）がそれぞれに学習用具を持参し、学習に励みました。期末考査に備えて社会科のまとめをする生徒、数学の問題に取り組む生徒、入試にかかわる提出作文を仕上げる生徒たちが黙々と、また時々ボランティアの3名の指導者に質問したり、助言を求めたりもしながら学習していました。

小山田中学校では、大半の生徒が部活動に参加する平日の放課後ではなく、土曜日の午前中に「学べる場」を生徒に提供し、生徒が学びの積み重ねにより学習意欲を高めることを目指した学習教室を開催しています。参加は生徒自身の自主的な意思によるものとする「この指とまれ方式」であり、その趣旨により「土曜ゆびとま教室」と名づけられています。

生徒に寄り添う指導者・支援者はボランティアの地域協力者が務めます。小山田中学校では学校支援ボランティア活動に参加できる方々が、「小山田中地域応援団」（OVR = Oyamada Village Rooters）という名の下に登録されています。VCはOVRのメンバーから、あるいは声かけをした大学生たちから指導者・支援者を手配しています。

さらにVCは実施計画の立案、計画表の作成から会場の準備・運営・片付けまでのすべてに関わっており、毎回生徒の見守りをされる校長・副校長先生と共に、当校の学習支援活動「土曜ゆびとま教室」の中心的な推進役です。



【事務連絡】

- VC ミーティング予定 会場は①②とも市役所2階市民協働おうえんルーム
 - VC ミーティング（1・2年のVC対象） 5月18日（水） 9:30～12:00
 - 1学期の地区別VC ミーティング

6月 6日（月）	9:30～12:00	中学校合同VC ミーティング
6月 7日（火）	13:30～16:00	小学校3・5地区合同VC ミーティング
6月 8日（水）	9:30～12:00	小学校1・2地区合同VC ミーティング
6月10日（金）	13:30～16:00	小学校4・6地区合同VC ミーティング

2 学校支援ボランティアをお探しの学校へ

3月まで登録が少なく心配されましたが、新年度になってから学校支援ボランティアとしての活動を希望する大学生の登録が少しずつ届いています。なるべく、昨年度末から要請のあった学校には優先して人材情報データをお送りするようにしています。

現在、学校支援ボランティアをお探しの学校は、学校支援センターにご一報願います。その際、おおよそのニーズ（○曜日・○時間・○学年・どのような活動にあたる人が必要なのか）をお知らせください。